

令和7年度第3回石巻市総合計画推進会議 会議録

■日 時 令和7年11月17日（月） 14時00分～15時15分

■出席者 別紙のとおり

■会議内容

1 会議開催について

委員数25名に対して17名が出席しており会議は成立

2 開会挨拶

(岡部長)

お忙しいところご出席いただきまして誠にありがとうございます。本来であれば齋藤市長が皆様に御挨拶すべきところでございますが、本日広域の理事会がございまして、そちらの方に出席してございます。副市長につきましても今日、田所復興副大臣が石巻の方にお越しになっておりまして、そちらの方の視察に出席しておりますので、私の方から皆様方に御挨拶をさせていただきます。齋藤市長から皆様の御挨拶お預かりいたしておりますので、そちらの方を読ませていただきます。

令和7年度第3回石巻市総合計画推進会議の開催にあたり、一文御挨拶を申し上げます。委員の皆様には日頃から本市の行政全般にわたり、ご理解と御協力を賜り、心から御礼を申し上げます。

さて、本年7月1日と3日に開催をいたしました推進会議におきましては、令和6年度の内部評価につきまして、市民目線はもとより、専門的見地から評価検証をしていただきまして、様々な視点から多くのご意見をちょうだいいたしましたことを、改めて御礼と感謝を申し上げます。

本日は令和6年度実績の評価結果についてご報告をさせていただきますが、第二次総合計画基本計画の前半部分にあたります前期計画期間が、今年度末をもって終了となりますことから、各指標の結果が施策にどのような影響をもたらしたのか、5ヵ年分の総括として、前期基本計画に係る施策評価のご報告や、令和8年度から始まる後期基本計画の推進方法などにつきまして、来年度以降、皆様にお示しできればと考えております。

結びになりますが、本市のさらなる発展に向けまして、引き続きお力添えを賜りますようお願いを申し上げます。今日はどうぞよろしく願いいたします。

(会長)

本日はご多忙な中、お集まりいただきまして本当にありがとうございます。石巻市総合計画推進会議、今年度最後の会議となります。会長として一言ご挨拶申し上げます。

いと思います。

まずは本年度これまで2回にわたりまして、総合計画に掲げられた各施策の内部評価に対する評価というのを皆様に行っていただきました。本当に限られた時間の中で、建設的なご意見、ご提案賜りましたこと、御礼申し上げたいと思います。

また私事で非常に恐縮ですが、今年度途中にちょっと体調を崩しまして、2回とも欠席の中間会議を運営していただきました。全般にわたって会議を行っていただきました木村副会長、そして担当職員の皆様、そして委員の皆様にお詫びを申し上げるとともに、感謝申し上げたいと思います。

本年度の議論について、私は資料を通してだけになります振り返らせていただきました。本当に内部評価に対する評価という枠組みを超えて、施策そのもののあり方や、今後の改善方向にまで踏み込んだご意見数多く頂戴しております。施策について私が考えているのは、どれだけ議論を重ねてもベストな解はないと思っており、より「ベター」なものを探していくしかないと感じています。その時々々の社会状況、また地域の実情、あと市民の多様化するニーズ、それらに合わせて、より「ベター」なものを模索していくと思いました。だからこそ、行政だけの視点ではなくて、ここにお集まりいただいている委員の皆様の多様な立場、そして専門性を生かした議論が必要になっていると感じています。その意味で今年度いただいた意見の量と、あとまた指摘の幅、それが本会議の大きな強みであるというふうに感じております。

委員の皆様にご真摯に向き合っていたからこそ、施策の成果指標の妥当性からまた現場レベルの進捗、さらには市民生活に与える影響まで多面的な検討が可能となりました。この積み重ねが、総合計画をより確かなものへと成長させていく基盤であると自負しております。本日は本年度の評価結果というのを共有いただく予定です。施策全体としてどのような傾向が見られたのか、そして先ほどの御挨拶にもあったように、来年度以降に向けてどのような改善が求められるのか、ぜひ皆様のお立場から率直なご意見をちょうだいいただければと存じます。いただいたご指摘は石巻の将来を形づくっていく重要な指針となると思います。委員の皆様のお力添えによって、この総合計画の推進を検討する。本当に着実に進化してきていると感じています。

本日の議論が次の1歩へと方向づける大切な機会になると思いますので、本日も忌憚のないご意見、よろしくご意見申し上げます。

3 議題

(1) 第2次石巻市総合計画令和6年度実績の評価結果について(資料1)

事務局(政策企画課長)より説明。

【質疑】

(会長)

今回、ワードクラウドで丁寧に分析していただいたと思いますが、第4章について感情分析の第1位が「喜び」になっており、4章は外部評価の結果でいうと「やや遅れている」のCが4節あり全体の中でいうと進捗としては遅れているのかなと感じているところですが、それに対してポジティブな感情である「喜び」が多く出ている点について、何か見えてきたものなどありますでしょうか。

(政策企画課)

委員評価からのA B C Dだけの判断で見ると、例えば第2章の生活環境の分野が全体の中では進捗がよくなく、第5章の教育分野の進捗が高いというようなK P Iの結果が出ております。そこからすると、こちらのポジティブ・ネガティブという感情的なところはなかなか結びつけにくいところがありますが、第4章の部分については、おそらくこの感情分析では皆さんの文章表現の中に「よかったと思う」などという表現の多さで「喜び」と判断されているように見受けられるので、その辺の細かい分析については、もうちょっと踏み込んだ形でしていかなければならないと考えております。

(会長)

この意見としてはポジティブにとらえているのが多いということによろしいですかね。逆に言うと教育分野では進捗はいいけれども、そこでいじめ問題の話題が出るということは、これで逆に悪い面も炙り出すことができるということですね。ありがとうございます。

(委員)

C・D評価になっている部分の今後の改善方法とか、その辺の進捗管理をどのようにしていくのか、ちょっとお聞きしたいというのが1点と、物価高や少子化問題、人手不足などいろいろ課題があるかと思いますが、今後新たな施策として盛り込んでいくものなのか、それとも定点観測みたいに最初に決めた施策だけで進んでいくものなのか、お聞きしたいと思います。

(政策企画課)

1点目のC・D評価の今後に向けた対応についてですが、それぞれ個別施策の積み上げによってこのような評価が出ておりますので、担当課の方にはこの結果を返し皆さんからいただいた意見に対する対応や今後の方向性ということ内部で共有を図りながら、改善に向けた取り組みを進めてまいります。

それから物価高や少子化等の今後の対応についてですが、現在、後期計画を策定しております、間もなくでき上がるというふうな状況まで来ております。前期部分の計画の進捗につきましては、4年間分になりますが総括を一定程度しております、そこから見えてきた課題などを炙り出してしております。ただそれだけではなく、時代の潮流なども含めたその辺の課題について浮き彫りにした上で、策定した後期計画につ

なげるというところになっておりますので、令和8年度以降につきましては、それらの課題を盛り込んだ形での計画を進めていく方向で対応していきたいと思っております。

(会長)

今後の5年間の中で社会状況ってすごく変化していくと思います。それに対応できるような余白というか見直しという部分も必要ではないかと思っておりますので、その点も後期計画の中にぜひ盛り込んでいただきたいと思います。

(委員)

ワードクラウド分析について私も全然詳しくないのですが、感情分析で割とネガティブな意見が多いというのはどうしてでしょうか。課題点を洗い出すということで文章的にネガティブになってしまいがちなのかなと思ったので、その辺についてもっと丁寧に分析できないものなのかと思いました。

(政策企画課)

ポジティブ・ネガティブという感情分析につきまして、ただいまご指摘をいただいたように現状に対するご意見、課題ということでネガティブ志向が強くなるというのはおっしゃる通りだと思っております。ただその部分につきましても、もうちょっと掘り下げた分析の中で、今後の施策展開につなげていけたらなと思っておりますので、今後の対応になりますけれども、詳細分析も積み上げながら対応してまいります。

(委員)

私ももっと評価するとかの意見を出したほうがいいのかとか、これを見て思いました。あとこの感情分析で「悲しみ」という表現ではなく「憂い」とか「心配」とかもうちょっと丁寧に置き換えられるとわかりやすいと思われました。

(委員)

女性人材リストについてですが、NPOも含めた様々なネットワーク等もありますし、今はたくさんの女性が活躍されているので、リストの見直しについて担当課の方もいろいろと模索されていると思いますが、今回、総理も女性になったことで、たくさん意見を持っている方々の掘り下げにもう少し力を入れていただいて、できればこういったような集まりも含めて多くの意見が広く求められるような形で、ぜひ活用をお願いしたいなと思っております。

(政策企画課)

個別計画の中に石巻市男女共同参画基本計画もございまして、現在改定の時期になっておりますのでその辺の見直し作業も含めながら、女性活躍や多様性みたいなものについて積極的に図っていかなければならないと思っております。

(委員)

もう1点ですが、現在、熊に関する被害が全国的に広がっておりますが、5年間の

計画の中で鹿の問題がどちらかという課題として大きかったと思いますが、ここに来てこれから急激に熊対策が必要になっていると思っています。

実は私の知り合いの話ですが、南浜の方で車が猪にぶつかって全損になったということで、本来、猪が出てくると思わないようなところにまでもう出てきていますので、今後ごみ処理についても工夫が必要になったり、新たな問題として鳥獣対策についてこれから費用もかさんでくるかと思っています。今後、その時々で見直しは必要であると改めて思いましたので、よろしくお願いいたします。

(政策企画課)

熊対策については、現在、毎日のように新聞テレビ等々で取り上げられております。本市としてもシカ対策の部署は設置しておりましたが、熊にまで及ぶとは思っていませんでした。それだけ時代の変化に伴い新たな課題が出てきており変化が早いと感じております。今挙げられたごみ対策やそれ以外の部分も含めて、熊だとか野生動物による影響というのは大きいと思いますので、その辺は先んじて対応していかなければならないと思いますので、担当部署と調整しつつ取り組んでまいりたいと思います。

(委員)

大雨とくに排水関係に対する対策も必要ではないかと感じています。結構今でもちょっとした雨で浸水している道路が見られていると思いますが、そこら辺もぜひ後期計画の施策の中で具体的に進めていただけたらと思いました。

(政策企画課)

この総合計画の部分については全分野を範囲としているところでございますが、大雨等々の対策につきましては、生活環境分野における個別計画もございますので、担当課と調整を図りながら対応していかなければならないと思っております。

(委員)

人口減少に関する問題について、すごく真剣に考えていかなきゃいけない部分だと思います。学校側の方でも統廃合の話がどんどん出ておまして、市内中心部の小学校の統廃合の話も出ている状況です。出生率がすごく低い中、石巻市をしっかり守っていくにはこの人口減少対策を真剣に考えていかなければならないところに来ているとすごく感じます。この5年間の中で真剣に考えていながら、石巻が抜本的な人口減少対策をできるような何かモデルケースになるような施策を打ち出せれば、周りの地域にもいろいろ良い面を与えていくのではないかと思いますので、5年の新しい計画に盛り込んで欲しいと思います。

(政策企画課)

人口減少対策についてですが、現在も力を入れて取り組んでいるところですが、なかなか成果が見えにくい、出ないという状況になっております。そちらの対策につき

ましては、今進めている後期計画の中の重点対策の柱の1つに挙げておりますので、その部分については具体的な対応も含め、重点的に進めなければならないと思っておりますので、ご意見を参考にさせていただきたいと思っております。

(会長)

人口減少問題に関する施策は非常に進捗も含め評価が低かったところですが、日本全体が人口減少に入っているので、非常に評価が難しいところではないかと私自身思っています。例えば、「施策をやっていなかった場合」と比較しなければ、現在行っている施策がどれほどの効果を挙げたのかは厳密にはわからない部分があります。また、人口減少対策はしつつも、人口減少下でどのような地域運営をしていくのかということも、本気で考えていかなければならないと思っております。そのあたりも後期計画の中で対応していただければと思います。

(委員)

説明が大変わかりやすく、とても腑に落ちる部分が多くありがとうございました。

今までも取り組んではきておりますが、いかに若い世代の意見を市政に反映させるのかという点が、いろいろな課題を解決する上での鍵になるのかなと思います。専修大学との事業や政策コンテストなど取り組んでいるとは思いますが、若い世代の意見を聞く、あるいは集約するという機会を、今後とも尽力していただき、できるだけ施策に反映させていただければと思います。

(会長)

政策コンテストについてお話をさせていただきます。石巻市に限ったことではありませんが、私も政策コンテストとかの審査に入ることがありますが、審査委員をやるのがどうしても「大人」になってしまい、行政の方や専門の方等が審査するので、どうしても採用されるものが「大人」が選んだものになっていると最近ちょっと反省しているところがあります。何かを抜本的に変えるっていう意味や、若い人の意見を本当に反映させることを目的とするならば、審査委員とか採用を決める意思決定自体も若い人を巻き込んだ方がいいのではないかと感じているところでしたので、この場を借りてご意見させていただきました。

(副会長)

私からもお話をさせてください。政策コンテストのときに石巻専修大学の学生と取り組んだことがあります。今庄子会長が話したように、大人目線で見えてしまいます。それから、予算はどうするのかとか、大人が介入してしまうことで子どもの意見を吸い上げることが少なかったような感じがします。

今の意見、すごく貴重だと思いますので、私たちの考えが及ばないような子どもたちの柔軟な意見が出てくるような場面を活用しながら施策を練っていったら、面白いものが出てくるのではないかと思います。

(委員)

政策コンテストについて、具体的に子どもたちがどんな施策を出しているのか、私自身ももっと知りたいなと思いました。何かうまく広報の中で知らせてもらえたらという点が1つと、コンテストの審査について、SNSなどを活用して一般の意見を集めるなどいろんな人の意見を吸い上げる仕組みがあってもいいのかなと思いました。

最後に、石巻市の政策コンテストで出てきた施策がどれぐらい実際に発揮されているのか、それはどのような形になっているのかなど、一般の人たちに伝わるようなものがあると参加した子どもたちが一番納得するのではないかと思います。提案した施策が本当に活かされているのかどうか、知りたいのではないかと思います。

(政策企画課)

政策コンテストについては政策企画課が主催をしておりますので、ちょっと耳が痛いなと思いながら聞いていたところでございます。

今年度については、専修大学からの参加も含めて6チームの若い方々に参加をいただきました。決勝大会は公開で行っておりますが、私たちも多くの方々に知ってもらいたいという同じ思いで、SNSを活用したショート動画を作成し、二分でこういうことをやっているよというPRを今年初めて行ってみました。決勝大会当日はささえあいセンターの大きなホールで行いましたが、いざ来た方々については数十名という結果であり、なかなか努力が実らなかったというところでございます。

私たちもただ若い人たちに参加していただくだけでなく、それを実効性のあるものとし、さらに皆さんに伝えたいという思いもありますので、今後はさらなる工夫に努めて、納得のいくものにしていきたいなと思っております。

(委員)

若い人の話について、桜坂高校の学校運営協議委員会の委員をさせていただいている関係で、先般の「全国鯨フォーラム」を行ったときに、桜坂高校の生徒がすごく活躍をしてくださいました。学校全体でこのような地域のイベントにお手伝いすること自体すごく素敵だなと思っています。桜坂高校のピンクの法被を着て、例えばクジラの料理も自分たちで開発をして、それを来場者の方々に提供したり、誘導も生徒が自分たちで行い、その他当日の式典もお手伝いしてくれたり、大変頼もしく思いました。積極的に子どもたちの力を私たち大人ももっと当てにして、地域の行事に参加してもらうことで、子どもたち自身にとっても社会が見えてくるのではないかと思います。

今度は「トークフォークダンス」というのを桜坂高校で行いますが、地域の大人85人と、子どもたちがほぼ一対一で向き合いながら話をして、それを1人ずつ交代してしゃべっていくという手法ですが、このような機会を高校でもどんどん取り入れることで、石巻の大人って実は元気ですごい人たちがいるということ、アルバイトという機会だけではなく、できるだけ地域の大人と触れ合う機会を学校側もどんどん積

極的に推進していくと、子どもたちがもっと石巻市を好きになって将来的に残ってくれる子も増えてくれればなと改めて思ったので、事例紹介をさせていただきました。

(政策企画課)

鯨フォーラムでの桜坂高校の関わりについては、私も当日現場にいたので品物の提供だけでなく、当日はパネルディスカッションの中でも桜坂高校の生徒さんが出てきて活躍されていたのに感銘を受けたところでございます。

今回は総合計画について皆さんにご議論をいただいておりますが、今後に向けてのキーワードは「1人でも多く参画する」というところだと思いますので、こちらの総合計画につきましては、来年度に向けてわかりやすい周知を図るとともに、説明していかなくてはと思っておりますので、市政に対して市民の皆様から支援をいただけるような取組もしてまいりたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

4 その他

事務局（政策企画課）より、「今後のスケジュールについて」説明。

5 閉会挨拶

(副会長)

皆様大変お疲れ様でした。

事務局から説明がありましたとおり393件の皆さんのご意見、しかも貴重な意見をたくさんいただいて、それを施策評価に反映していることはすごいことだと思います。皆さんの意見を大事にしているからこそ、この資料に挙げているように感想や要望をその他に分けて、それぞれの章それから節に分類し肯定部分それから改善部分として次の施策に活かしている点について、他の市町村のことはよくわかりませんが、すごく前向きに委員の皆さんのご意見を大切に施策に活かしているなど強く感じております。

さて最後に言っていた「若者・子どもの意見をたくさん聞く」ということについて、私も大賛成です。私自身、子ども・子育て分野に関わっていますが、11月30日に子ども若者フェスティバルをささえあいセンターで行います。子ども・子育て委員も参加しますが、私たちが子どもたちを呼ぶのではなく、子どもたちから委員の皆さんも参加してくださいという要望がありました。それで私たちも参加することになりましたが、このように子どもを主体的にどう活躍させるか、ということがすごく大事であり私たちが思っているより小中高大学生は力がいっぱいあります。私たちの考えが及ばないようなものをたくさん持っていますので、その力を借りることが今後の市の施策を活性化させる大きな要因になるのではないかと考えています。

そういう意味では最後に意見がたくさん出てよかったなと思っています。今回で今年度の会議は終わりですが、委員の皆様にご心から御礼を申し上げて、閉会の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

石巻市総合計画推進会議委員人簿

No.	氏人	所属	備考
1	阿部 隆	特定非営利活動法人 石巻市スポーツ協会	欠席
2	阿部 貞子	牡鹿地域まちづくり委員会	出席
3	姥浦 道生	東北大学	欠席
4	遠藤 一恵	石巻市女性活躍推進会議	出席
5	大槻 敏也	雄勝地域まちづくり委員会	欠席
6	大森 憲市	石巻市PTA協議会	出席
7	尾形 輝雄	石巻商工会議所	出席
8	木村 亜梨沙	一般社団法人 石巻青年会議所	出席
9	木村 民男	石巻市子ども・子育て会議	副会長 出席
10	木村 美保子	特定非営利活動法人 いしのまきNPOセンター	出席
11	後藤 宗徳	一般社団法人 石巻観光協会	欠席
12	加納 美雄	いしのまき農業協同組合	欠席
13	齋藤 義樹	特定非営利活動法人 いしのまき環境ネット	出席
14	佐藤 尚美	北上地域まちづくり委員会	欠席
15	庄子 真岐	石巻専修大学	会長 出席
16	須能 邦雄	石巻市水産振興協議会	出席
17	高橋 京子	石巻文化協会	出席
18	齋藤 光	河南地域まちづくり委員会	出席
19	千葉 照彦	桃生地域まちづくり委員会	出席
20	野呂 拓生	東北福祉大学	欠席
21	花岡 徹	石巻金融団	出席
22	林 久善	社会福祉法人 石巻市社会福祉協議会	出席
23	伏見 不二雄	石巻市町内会連合会（前会長）	欠席
24	三浦 悠	株式会社 街づくりまんぼう	出席
25	山内 隆夫	河北地域まちづくり委員会	出席

オブザーバー

1	畑山 作栄	国土交通省東北地方整備局北上川下流河川事務所	代理出席
2	武田 健久	宮城県東部地方振興事務所	代理出席
3	鏑木 祐人	総務部総務課 法制企画官	出席

令和7年11月17日現在（敬称略）